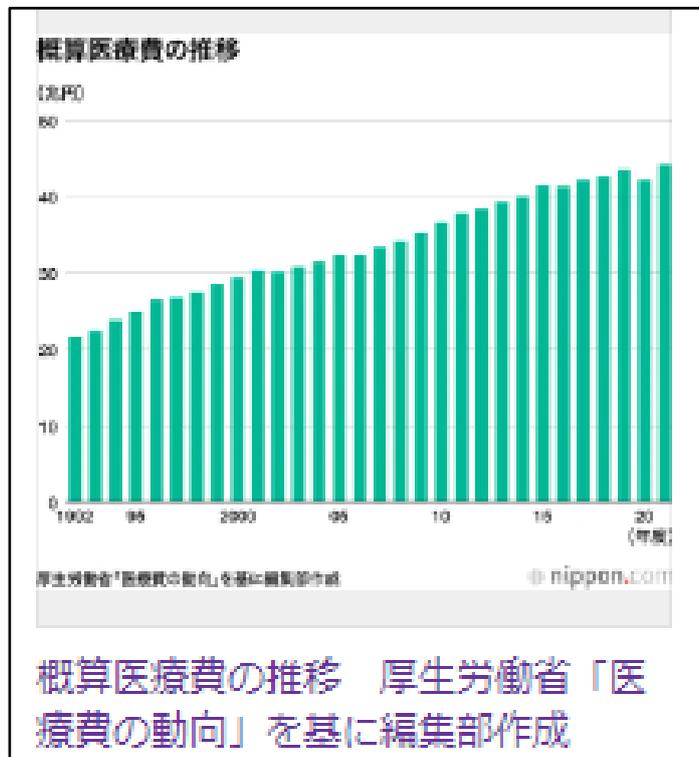


【Japan Data】概算医療費、過去最高 44.2 兆円：受診控え続くが、コロナ関連の検査費など膨らむ

2022.10.04 nippon.com

受診控えの影響が大きかった 2020 年度から一転し、21 年度の概算医療費が過去最高を更新した。人口のボリュームゾーンである団塊の世代が後期高齢者入り、今後、医療費の増加ペースは速まるとみられる。



2021 年度に医療機関に支払われた概算医療費は、前年度より 2.0 兆円

(4.6%) 増の 44 兆 2000 億円となり、過去最高を更新した。医療費の内訳は、「入院」が 2.8% 増の 17 兆 6000 億円、外来や往診など「入院外」は 7.5% 増の 15 兆 3000 億円。「調剤」は 2.7% 増、「歯科」4.8% 増だった。

20 年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診控えで医療費が減少した。21 年度も受診控えの傾向は継続しており、延べ患者数（受診延日数）は前年度と比べれば 3.3% 増えたが、19 年度と比べれば 5.5% 減でコロナ禍が本格化する前の水準に達していない。高齢化や医療技術の高度化に加え、PCR 検査など新型コロナウイルス関連が押し上げ要因となった。

1 人当たり医療費の推移 厚生労働省「医療費の動向」を基に編集部作成

国民一人あたりの医療費は前年度比 1 万 7000 円増の 35 万 2000 円。75 歳未満が 23 万 5000 円だったのに対し、75 歳以上では約 4 倍の 93 万 9000 円だった。

概算医療費は労災や全額自費などを除いた医療費の速報値で、約 1 年遅れて発表される医療費全体の確定値である「国民医療費」の 98% に相当する。人口のボリュームゾーンである段階の世代が後期高齢者入りしたことや、医療技術の高度化により増加傾向にあり、今後も増え続けると予想されている。

